

令和5年度全国学力・学習状況調査の分析結果について

1 調査の目的

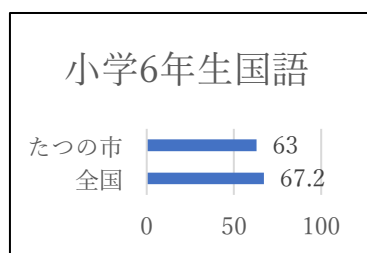
- (1) 全市的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の評価と課題を検証し、改善を図る。
- (2) 児童生徒の学習状況を把握・分析し、授業改善等の教育指導に役立てる。
※本学力調査において把握できるのは、学習指導要領が育成を目指す資質・能力の一部のみであることに留意すること

2 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年
- (3) 本市の調査実施校数及び児童生徒数
 - ・小学校16校 616名
 - ・中学校5校 631名
- (4) 調査内容
 - ア 教科に関する調査
 - 小学校：国語、算数
 - 中学校：国語、数学、英語
 - イ 質問紙調査
 - ①児童生徒用 学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣等に関する調査
 - ②学校用 学校における指導方法や取組に関する調査

3 調査結果と分析 (グラフ横の数字は正答率 単位：%)

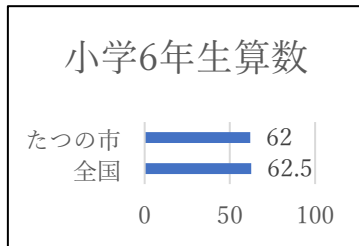
(1) 小学校国語 (全14問)



<課題の見られた出題内容>

- ・漢字を文の中で正しく使うことができる。
- ・目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。
- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができる。

(2) 小学校算数 (全 16 問)



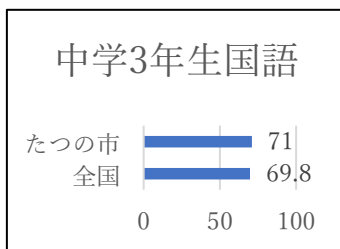
<学習の成果が見られた出題内容>

- ・ 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。
- ・ 一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができる。

<課題が見られた出題内容>

- ・ 台形の意味や性質について理解している。
- ・ 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。
- ・ (2位数) ÷ (1位数) の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えることができる。
- ・ 百分率で表された割合について理解している。

(3) 中学校国語 (全 15 問)



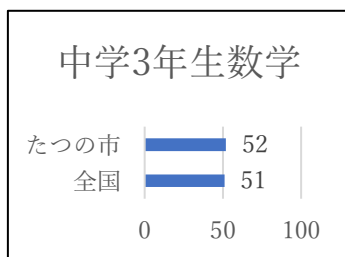
<学習の成果が見られた出題内容>

- ・ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができる。

<課題が見られた出題内容>

- ・ 観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができる。

(4) 中学校数学 (全 15 問)



<学習の成果が見られた出題内容>

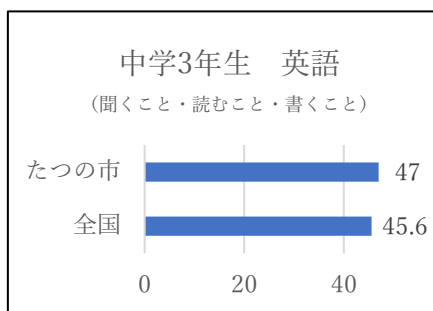
- ・ 数と数式の乗法の計算ができる。
- ・ 反比例の意味を理解している。
- ・ 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ・ 四分位範囲の意味を理解している。

<課題の見られた出題内容>

- ・ 累積度数の意味を理解している。
- ・ 複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

(5) 中学校英語 (全 22 問)

- ・「聞くこと」「読むこと」「書くこと」(全 17 問)



<学習の成果が見られた出題内容>

- ・社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。
- ・未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができる。

4 たつの市教育委員会の今後の取組

(1) 成果・課題の分析・把握と学習指導の充実

全小中学校において、調査の成果と課題の分析を行い、指導体制や指導方法を工夫改善し、様々な学習形態を取り入れながら、きめ細かな指導を実現し、基礎・基本の定着を図りながら、自ら学び考える力を育成する。

(2) ICT を効果的に活用した授業改善の推進

児童生徒 1 人 1 台端末やその他の ICT 機器を効果的に活用できるよう、教員の研修体制の充実を図り、教育の質の向上を図る。また、教員の中から GIGA リーダーを指名し、GIGA リーダーを中心とした授業改善のための取組を推進する。

(3) 「ことばの力」を高めるための取組

文章の内容を理解するだけでなく、自分自身が持っている知識や経験と結びつけながら学びを進められる児童生徒の育成のため、モデル校による国語の授業改善を中心とした取組を推進する。

(4) 英語で表現したり、伝え合ったりする力の育成

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に加え、「話すこと」の力を育成するため、ALT の配置を充実し、授業や学校生活の中でのコミュニケーションを行う機会を増やし、積極的に英語に触れる児童生徒を育成する。

5 児童生徒に関する生活習慣や学習環境等に関する状況

(児童生徒質問紙調査より一部抜粋) ※数値は肯定的な回答の割合(%)

	質問内容	小学校		中学校	
		たつの市	国	たつの市	国
1	自分には、よいところがあると思う	84.3	83.5	78.7	80.0
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	87.0	89.8	87.5	87.3
3	先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う	93.0	93.0	90.0	88.9
4	将来の夢や目標を持っている	85.8	81.5	64.9	66.3
5	人が困っているときは、進んで助けている	91.8	91.6	92.9	88.1
6	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	96.8	96.9	97.4	95.5
7	人の役に立つ人間になりたいと思う	96.4	95.9	96.7	94.6
8	今住んでいる地域の行事に参加しているか	80.4	57.8	50.1	38.0
9	学校に行くのは楽しいと思う	85.0	85.3	81.5	81.8
10	友だち関係に満足している	88.3	90.3	91.4	88.7

○ 質問紙調査のうち、自分自身のことを振り返って回答する項目において、国の割合と比べて概ね同じか上回っていることから、本市の児童生徒は、充実した学校生活を送れていることがうかがえる。

「先生がよいところを認めてくれていると思う」「分かるまで教えてくれていると思う」という回答率が高いことから、児童生徒が教員との関わりを良好だと受け止めていることがわかる。

また、「人を進んで助けること」や「いじめはいけないことである」、「人の役に立つ人間になりたい」など、本市児童生徒が、道徳的な判断力、心情等を身に付けていることがうかがえる。

さらに、地域の行事への参加率が小学校、中学校ともに高いことから、地域と学校、家庭とが連携して、地域で子どもたちを育てていこうとする地域性が伺える。